◇　◇　第二種研究会開催案内　◇　◇

●LSI とシステムのワークショップ 2016

近年，急激に技術革新が進んでいる「IoT による実世界のビッグデータ取得」と「人工知能によるビッグデータの解析」の相乗効果によって，人類の社会・経済・生活が飛躍的に効率化・向上し，2045 年にはシンギュラリティが到来すると言われています．そこで，今回の LSI とシステムのワークショップ 2016 では「IoT × 人工知能による人類の飛躍に向けた LSI とシステム」をメインテーマとしました．第一人者による招待講演とパネルディスカッションを通じて，LSI とシステムの将来ビジョンを提示します．

併設されるポスターセッションでは，学生を主体とした若手研究者による最新の研究成果が披露され，ジョブマッチングの場としても御活用下さい．

テーマ：IoT × 人工知能による人類の飛躍に向けた LSI とシステム

期日　平成 28 年 5 月 16 日（月），17 日（火）

会場　東京大学生産技術研究所総合研究実験棟（An 棟）2 階コンベンションホール（目黒区駒場 4-6-1．京王井の頭線：駒場東大前駅より徒歩 10 分．http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html）

プログラム概要

16 日　10：00〜19：30

ワークショップオープニング

開会あいさつ　藤島実 ICD 委員長（広島大）・日高秀人（ルネサスエレクトロニクス）

〔招待講演〕　安全運転を支える情報通信・センシング技術（仮）　　澤田　学（デンソー）

〔招待講演〕　車載向け高性能・高信頼性 SoC の最新動向　　服部俊洋（ルネサスシステムデザイン）

昼食兼ポスターセッションⅠ

〔招待講演〕　生活者を取り巻く IoT（住宅，自動車，B2B）と，その未来　　梶本一夫（パナソニック）

〔招待講演〕　脳を創り，理解し，利用する―昆虫の環境適応能（知能）の再現―　　神崎亮平（東大）

〔招待講演〕　ソフトコンピューティング・脳型計算機とホームロボットへの展開　　田向　権（九工大）

〔招待講演〕　大脳皮質ベイジアンネットモデルの実用化に向けた取り組み　　一杉裕志（産総研）

バンケット

17 日　9：20〜17：30

〔招待講演〕　Cognitive Computing に向けての Neuromorphic Device 技術　　細川浩二（日本 IBM）

〔招待講演〕　何故 GPU は Deep Learning を加速できるのか？　　成瀬　彰（NVIDIA）

〔招待講演〕　次世代スーパーコンピュータと汎用人工知能の並行開発に向けた戦略　　齊藤元章（PEZY Computing）

昼食兼ポスターセッションⅡ

〔招待講演〕　脳型コンピュータの可能性　　泰地真弘人（理研）

〔招待講演〕　全脳アーキテクチャに求められる計算リソース　　山川　宏（ドワンゴ）

〔パネルディスカッション〕　シンギュラリティを迎えた 20XX 年における LSI の姿は？

パネリスト　細川浩二（日本 IBM）・成瀬　彰（NVIDIA）・齊藤元章（PEZY Computing）・泰地真弘人（理研）・山川　宏（ドワンゴ）

表彰式

主催　集積回路研究専門委員会（ICD）

共催　VLSI 設計技術研究専門委員会，コンピュータシステム研究専門委員会，ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会，情報処理学会；システムと LSI の設計技術研究会／システム・アーキテクチャ研究会，IEEE Solid-State Circuits Society，Japan/Kansai Chapter

協賛　応用物理学会；シリコンテクノロジー分科会，電子情報技術産業協会，日本電子デバイス産業協会

★通信方式研究会（CS）
専門委員長　坪井利憲　副委員長　横谷哲也
幹事　高橋　賢・谷口友宏

★コミュニケーションクオリティ研究会（CQ）
専門委員長　矢守恭子　副委員長　林　孝典・下西英之
幹事　山崎康広・松田崇弘　幹事補佐　山本雅大・古　博・アベセカラ ヒランタ

★ネットワーク仮想化研究会（NV）（第二種研究会）
専門委員長　島野勝弘　副委員長　長谷川輝之
幹事　清川雅博・坂井田規夫　幹事補佐　石井大介・篠原悠介・瀧田　裕

◎本研究会はCS研究会とCQ研究会，NV研究会（第二種）の併催です．研究会資料は各研究会ごとに発行されます．
◎本研究会は平成28年度において参加費が必要になります．
http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/trial2015/trial2015_index.html
を御参照下さい．

日時　4月21日（木）　9：20〜16：50
22日（金）　9：20〜16：30
会場　機械振興会館6階66号室（港区芝公園3-5-8．東京メトロ日比谷線：神谷町駅下車徒歩10分，JR：浜松町駅下車徒歩20分，都営地下鉄三田線：御成門駅・大江戸線：赤羽橋駅下車徒歩10分．http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm　TEL〔03〕3434-8211）
議題　SDN（Software-Defined Networking），NFV（Network Functions Virtualization），ネットワーク仮想化，クラウド，サービス品質，コンテンツ配信，一般

21日
CQ-1．モバイルネットワークの地理的依存性を利用した通信品質劣化推定
○田行里衣（NTT）・金正英朗（阪大）・池上大介（NTT）・松田崇弘（阪大）・高橋　玲（NTT）・滝根哲哉（阪大）
CQ-2．選択的ノード保護下における偏った次数分布を持つネットワークのロバスト性評価
○賀沢　唯・山本幹雄・津川　翔（筑波大）
CQ-3．未知のグラフに対する影響最大化アルゴリズムにおけるランダムジャンプの効果
○三原正大（関西学院大）・津川　翔（筑波大）・大崎博之（関西学院大）
CS-4．光アクセス装置プログラマブル化に向けたCPU/GPUによる暗号化の並列実装の検討
○鈴木貴大・キム サンヨプ・可児淳一・鈴木謙一・大高明浩（NTT）
CS-5．PONを用いたアクセスにおける超高精細映像（4K/8K）配信方式の所要帯域に関する一検討
○谷口友宏・清水秀和・下羽利明・笠原康信・吉永尚生・須川智規（NTT）
CS-6．ns-3におけるNG-PON2モジュールを用いたDWAシミュレーション
○中山　悠・中村浩崇・寺田　純・大高明浩（NTT）

21日午後
共通-7.〔招待講演〕 リアルタイム・スケーラブルCPSに向けたモバイルネットワーク仮想化　　中内清秀（NICT）
共通-8.〔招待講演〕 ネットワークオーケストレータODENOSの実装と品質管理　　鈴木一哉（NEC）
9．ネットワーク仮想化時限研究会　http://www.ieice.org/~nv/
共通-10.〔特別招待講演〕 Information Centric Networkの街を見守るインフラとしての活用　　柴田巧一（Skeed）
共通-11.〔特別招待講演〕 電力ネットワークイノベーション（デジタルグリッド）―再生可能エネルギーシフトへの道筋―　　阿部力也（東大）

22日午前
1．ネットワーク仮想化時限研究会　http://www.ieice.org/~nv/
CQ-2．移動情報を加味した配信ビットレート選択手法の提案
○横田将裕・木村拓人・松本存史・林　孝典（NTT）
CQ-3．ビデオの空間品質劣化の伝播を考慮したビデオ出力方式SCSのQoE評価
○松井佑太・布目敏郎（名工大）・田坂修二（名古屋産業科学研）
CQ-4．Webサービスにおけるユーザへのフィードバック情報を用いたflash crowdの軽減
○多田知正（京都教大）・村田正幸（阪大）・会田雅樹（首都大東京）
CQ-5．複数経路マルチキャストを利用した多対多ファイル転送システムの試作

岡本洋平・○岩本健志・小川恭平・鶴　正人（九工大）

22 日午後（13：25～）

CS-6. Estimation method of instantaneous communications forbidden time caused by AC adapter in PLC system

○Daijiro Ueno・Kenji Kita（Toyo Univ.）・Hiroyasu Ishikawa（Nihon Univ.）・Hideyuki Shinonaga（Toyo Univ.）

CS-7. On a Hybrid Packets-and-Circuits Switching Logic　Marat Zhanikeev（Tokyo Univ. of Science）

CS-8. 適応ピークキャンセラを用いるマルチキャリア伝送の BER 特性の解析

○景山知哉・牟田　修・古川　浩（九大）

9. ネットワーク仮想化時限研究会 http://www.ieice.org/~nv/

☆CS 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

5 月，6 月休会

7 月 7 日（木），8 日（金）　宮古島ミライヘセンター〔5 月 13 日（金）〕テーマ：次世代ネットワーク，アクセスネットワーク，ブロードバンドアクセス方式，電力線通信，無線通信方式，符号化方式，一般

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

高橋　賢（広島市大）・谷口友宏（NTT）

E-mail：kanji2015@csken.org

◎最新情報は，CS 研究会ホームページを御覧下さい．

http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/

☆CQ 研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日

5 月 24 日（火），25 日（水）　九大〔締切済〕テーマ：無線伝送効率，無線伝送品質，MIMO・ダイバーシチ・マルチプレキシング，無線リソース割当，クロスレイヤ技術，一般

【問合先】

山崎康広（NEC）

TEL〔044〕396-2616，FAX〔044〕431-7609

松田崇弘（阪大）

TEL〔06〕6879-7741，FAX〔06〕6875-5901

E-mail：cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は，CQ 研究会ホームページを御覧下さい．

http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/